



# 西部教育局からのお役立ち情報

## 今月のトピック紹介版

1月号



すべての子供に「できた」「わかった」を!

小学校算数科の授業づくり

問題場面を図に表す活動を取り入れる!

すべての子供に「できた」「わかった」を!

「本時」で学ぶべきことを焦点化し、  
全ての子供に力を付ける!

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」

生徒指導提要改訂の趣旨を踏まえ、  
生徒指導の概念を一新する!!

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」

子供たちの笑顔があふれる3学期にするために

特別支援教育ほっと通信

確実な引継ぎのための準備

【西部地域開催】

鳥取県エキスパート認定教員による公開授業の御案内

# 問題場面を図に表す活動を取り入れる!

小学校第2学年「かけ算」の単元で扱う問題を例として、子どものつまずきやそれに対する手立てを想定してみましょう。

**問題①**  
ゴーカートは、1台に3人ずつのれます。5台では何人のれますか。

**問題②**  
高さが5cmのつみ木を3こつむと、ぜんぶで高さは何cmになりますか。

**問題③**  
あめを8こかいます。1こ5円です。代金はいくらになりますか。

## 《予想されるつまずきの様相の例》

問題①は、1と3と5の数字があるけど、どれを使ってかけ算の式にしたらよいのかな?



問題③は、「~ずつ」と書いてないから、一つ分の大きさがわからないな。

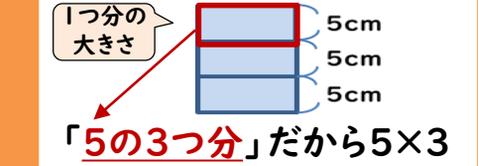
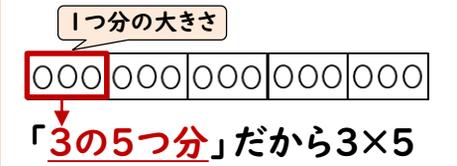
問題②は、「ぜんぶで」と書いてあるからたし算の式にすればいいのではないかな。

問題に出てくる数字の順に式にしたらいのではないかな。

☆「~ずつ」「~の何倍」というキーワードが問題文に無くても、**数学的な見方・考え方**を働かせて、それぞれの**問題場面**を「**〇のいくつ分**」として捉えられるようにすることが大切です。この時、基準となる「**一つ分の大きさ**」に着目できるかがポイントとなります。

※「一つ分の大きさ」に着目して「〇のいくつ分」が適切に捉えられるようにするためには、式だけではなく**問題場面や図を対応させながら理解する活動を取り入れることが効果的です。**

## 《手立てとなる活動の例》



たしかに、図をかくと、「一つ分の大きさ」にあたる大きさが捉えやすくなりますね。問題場面を図に表す活動を通して、数量関係を捉え、解決につなげる過程を理解できるようにすることが大切なんです。

# 問題場面を図に表し、解決する力を育てる!

**問題場面**

ゴーカートは、1台に3人ずつのれます。5台では何人のれますか。

**問題場面の  
絵や図**

この問題場面を分かりやすく図にしよう。  
○○○|○○○|○○○|○○○|○○○  
→なぜその図になるのかの理由を説明  
「ゴーカート1台に3人のっているからです。」  
「それが5台あるからです。」

問題場面から図に表すことが難しい時は、絵で具体的に捉えてからより抽象的な図で表せるようにしていきます。

**式**

問題場面を表した図をもとにして、式に表そう。  
 $3 \times 5$   
→その式になる理由を説明  
「一つ分の大きさは、1台にのれる人数だから3です。」  
「それが5台あります。だから、3の5つ分といえます。」

表した図や式が、問題場面の数量の関係を適切に表しているかどうか、問題文に立ち返りながら、説明できるようにしましょう。

**答え**

答えをもとめよう。  
こたえ 15人  
→答えにたどりつく方法を振り返って説明  
「問題文を図に表して、『一つ分の大きさ』と『いくつ分』を考えると、式に表して答えを求めることができました。」

図や式に表した際、なぜそのような図や式になるのか、自分が納得する説明、他者を納得させる説明ができるようにすることが大切です。例えば、問題文を1文ずつ、図に書き足していくようななどの活動を取り入れ、問題場面を解釈して図に表す力を高めていきましょう。

すべての子供に  
「できた」  
「わかった」を!

# 「本時」で学ぶべきことを焦点化し、 全ての子供に力を付ける!

西部教育局  
お役立ち情報  
令和5年1月号

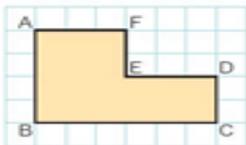
令和4年10月31日  
笠井調査官講演会より

算数の授業力をアップするコツは、「本時の学習のつまずきは何で、それに対してどう説明したら全ての子供が理解できるか」を教師が明確にもっておくことです。

## 【既習事項】・正方形、長方形の面積の公式

【問題】  
左の図形の面積を、  
工夫して求めましょう。

「本時」では、何ができるようにすればよいのでしょうか。また、その過程でどんなところにつまずくのでしょうか。



子供がつまづかないようにするために  
授業を構成するA先生の場合

本時の学習のつまずきを想定して  
授業を構成するB先生の場合

一通りの考え方しか出てこないかもしれないから、そのヒントもあげなくちゃ・・・。

長方形や正方形の面積の公式を忘れているかもしれないから、ヒントカードでの支援が必要だね。

**ここがポイント①**  
本時のつまずきと、既習事項のつまずきとは、切り離して考える!

本時に関連した既習事項については、掲示などにまとめておきましょう。

でも教えるのではなく、子供たちに気付かせるために・・・。

↑分ける方式は出てくるけど、↑補って引く方式は出てこないかもしれないな。

ヒントカードがほしい人はおいでー!

面積の公式  
○長方形 たて×横  
○正方形 一辺×一辺

**ここがポイント②**  
子供の気付きは教師の発問で引き出す!

本時のまともにつなげるキーワードを具体的に想定して発問を考えましょう。

この形が、もし、だつたら簡単に面積が求められるのにな・・・と考えてみてはどうですか?

↑L字型で、てこぼししているから難しいです。

もし、てこぼししていない形だつたら・・・

とても上手な説明でしたね。では、問題②をやってみましょう。

4×6=24  
2×3=6  
24-6=18  
答え 18cm<sup>2</sup>

**ここがポイント③**  
子供が説明するのは、本時の内容に関わる部分に限定する!

既習事項や計算の手順等の説明は、必要なければ省きましょう。

わたしは、②の長方形をつぎ足して、大きい長方形①を作ったよ。①から②を引いたら、L字型の面積になるよ。

ぼくは①と②の二つの長方形に分けて考えたよ。

① 4×3=12  
2×3=6  
12+6=18 18cm<sup>2</sup>

② 4×6=24  
2×3=6  
24-6=18 18cm<sup>2</sup>

あれ? 結局、マス目を数えているのよ!!

先生! ヒントカードは、だれもできない!!

四角形が見つけられない!!

**ここがポイント④**  
本時で習得した数学的な見方・考え方を、類似問題の中で活用できるようにする。

B先生のクラスの子供たちは、どの見方・考え方を選択すればより効率よく解けるかを考えて問題を解こうとしていますね。

「分ける」方式を使うとできそうだよ。でも長方形が4つになるなあ。

えっ! おずかしい!

問題②

【まとめ】  
L字型のような複雑な形も、長方形や正方形の面積の公式を使って求めることができる。  
→適用題・振り返り

【まとめ】  
L字型のような複雑な形も、分けたりつぎ足したりして長方形や正方形の形を見つけると、面積の公式を使って求めることができる。  
→適用題・振り返り

つまずきを想定するとき、それは本時のつまずきなのか、既習事項に関係するつまずきなのかを整理することが必要なのですね。

子供が説明をするときは、「この部分だけを説明して」と条件を付けると、より本時の学びが焦点化されます。常に本時のねらいを意識することが大切です。



# 生徒指導提要改訂の趣旨を踏まえ、 生徒指導の概念を一新する!!

## 生徒指導提要



デジタルテキストとして、  
文部科学省のホームページ  
に公開されています。  
御活用ください。

令和4年12月

文部科学省



生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書である「生徒指導提要」が、  
令和4年12月に12年ぶりに改訂されました。

### 【改訂の背景】

- ・平成22年に生徒指導提要が作成されて以降、**10年以上が経過**していること。
- ・近年、いじめの重大事態や暴力行為の発生件数、不登校児童生徒数、児童生徒の自殺者数が増加傾向であるなど、**課題が深刻化**していること。
- ・「いじめ防止対策推進法」の成立等、関連法規や組織体制の在り方など、**生徒指導を巡る状況が大きく変化**していること。等

この10年で児童生徒の実態や社会の状況が大きく変わっている  
からこそ、生徒指導の**基本的な考え方や取組の方向性が再整理**され、  
**今日的な課題に対応していくための改訂**がなされたのですね。



## 要確認

### 生徒指導の「定義」が改訂されています!!

#### 【平成22年版 生徒指導の定義】

生徒指導とは、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、  
個性の伸長を図りながら、**社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動のこと**である。

#### 【令和4年版 生徒指導の定義】

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることが  
できる存在へと、**自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のこと**である。



令和4年度版の「定義」では、**目前の問題に対応する課題解決的な指導だけでなく、  
発達・成長を促す指導等や予防的な指導を行う積極的な生徒指導が重要であることが  
強調されています。**

## 要確認

### 生徒指導の「目的」を達成するためには、児童生徒一人一人が 「自己指導能力※」を身に付けることが重要です!!

※深い自己理解に基づき、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択、設定して、この目標達成のため、  
自発的、自律的かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力。

#### 生徒指導の目的

生徒指導は、**児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支え**ると同時に、**自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支える**ことを目的とする。

#### 自己指導能力の獲得を支えるための実践上の視点

##### 自己存在感の感受

「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、児童生徒が実感する。

##### 共感的な人間関係の育成

支持的で創造的な学級・ホームルームづくりが生徒指導の土台となる。

##### 自己決定の場の提供

自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験が重要。

##### 安全・安心な風土の醸成

お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるような風土を、教職員の支援の下で、児童生徒自らがつくり上げるようにする。

「学習指導要領」とは対照的に「生徒指導提要」の認知度が低いことが課題となっていますが、  
「生徒指導提要」の内容を校内で共通理解することは、組織的な生徒指導体制の強化につながります。  
今回の「生徒指導提要」改訂を機会として、校内研修や生徒指導部会でテキストとして活用するなど、  
より一層の理解を図ることが重要です。



## 子供たちの笑顔があふれる3学期にするために

## 3学期＝1年間の総仕上げ＋次年度への準備

## ポイント①

## 3学期のスタートに向けて、1・2学期の学級経営を振り返る

## 〈1・2学期を振り返るためのチェック項目(例)〉

- 教室環境は整備されていたか。(机・イスの名前、時節に合った掲示物、ロッカーの整頓等)
- 学級のルールや学習規律は、誰もが無理なく守れる内容になっていたか。(教員も含め)
- 日直や当番等の仕事は具体的で、子供たちが自主的に動くことができるものになっていたか。
- 小さなトラブル等の解決を、当事者の子供だけでなく、学級全体の問題として考えていたか。
- 教員の指示や話等は「丁寧」「短く」「具体的」であることを意識していたか。

1・2学期に「できたこと」と「できなかったこと」を振り返り、**1年間の総仕上げとして3学期に取り組むべきことを整理し、学校全体で情報共有**しましょう。  
また、これまでに決めたルール等を子供と一緒に確認し、「**できていること**」はしっかりと褒め、「**できていないこと**」は3学期の目標に再設定する等、1年間の総仕上げにつなげましょう。

## ポイント②

## 3学期の学級経営を充実させ、次年度のスタートにつなげる

## 一人一人が自分の存在を実感できる授業づくり

- ・子供の実態把握を十分に行い、予想される個のつまずきに対する手立てを準備し、個別指導へつなげる。
- ・対話活動を行う際には、相手を尊重した聞き方や話し方ができるように確認する。

## 充実感や達成感が感じられる学級での取組

- ・学級委員や班長などに、学級をまとめていくための具体的な指導や励ましを行う。
- ・子供たち一人一人が自分のよさを生かし、係や当番の活動内容を工夫できるよう助言する。

## 1年間のゴールの姿や次学年を意識した振り返り

- ・特別活動の時間等に、学級や個人目標を振り返る時間を確保する。
- ・学級の課題を再度確認し、具体的な手立てを考え、次学年や卒業後も見通した目標を設定する。

3学期は1年間の総仕上げであると同時に、**次年度にどうつなげるかを意識した学級経営を行う**ことが大切です。

子供たちがさらに飛躍するための助走の時期と捉え、**新たな目標を設定したり**、新しい学級での人間関係につまずかないよう、相手を意識した聞き方や話し方等の**ソーシャルスキルを高める取組をしたり**することも有効です。



# 特別支援教育ほっと通信



令和5年1月  
西部教育局

確実な引継ぎ

切れ目ない支援の実現

安心して学べる場の保障

年度末に行うことを改めて確認し、  
**確実な引継ぎのための準備**をしましょう。

## 【学習指導】

### 学習指導に関する資料

- 教室環境
- 各教科等で使用した教材・教具（プリント類、指示書・手順書 等）
- 授業や生活、行事等の様子（写真、作品の写し 等）
- その他学習の参考となるもの（写真・ビデオ 等）
- 授業研究会の指導案や研究会記録
- 個別の教育支援計画の評価・見直し

### 通知表の作成

通知表は、学習したことの羅列やエピソード記録ではなく、児童生徒の学習への取組の様子、個人目標に対する評価や変容の様子等を簡潔に記載することがポイントです。

### 個別の指導計画の評価・見直し

- 児童生徒の実態の加筆
- 次年度の「個別の指導計画」（案）の作成
- 指導内容、指導における工夫、児童生徒の変容等についての評価と見直し
- 目標及び指導内容等の達成状況の記録

### 交流学級担任との連携

- 年間の指導等についての反省
- 次年度への引継事項の確認

### 次年度の教育課程についての協議・編成

- 各教科／自立活動／各教科等を合わせた指導／交流及び共同学習 等

子供たちの力を  
最大限まで伸ばす!



「特別支援教育の手引き」令和4年3月改訂 鳥取県教育委員会 44ページより

目標設定【**抽象的な目標→評価ができない**】⇒【**具体的な目標→評価が可能に!**】

具体的な目標設定の方法については、令和4年度第2回教務主任等研修会（令和4年12月6日開催）で紹介した「**抽象具体分析・ビデオクリップ法**」を参考にしてください。

↑ 少人数かつ短時間で、目標の具体化が可能に!

情報が必要な場合は、  
西部教育局までお声かけください。

1年間の成長を確認するとともに、次に目指す姿を明確にしましょう。  
また、新年度のスタートで子供たちが困らないように、**確実な引継ぎ**をしましょう。



- 個人ファイルを作成し、資料等を整理して綴りましょう。（インデックスを活用し業務の効率化を図りましょう。）
- 「いつ」「だれと」「何を」「どのように」を確認しながら、引継ぎの準備をしましょう。個別の教育支援計画、個別の指導計画、個人ファイル等を十分に活用しながら、引継ぎを行いましょ。
- 個人情報の取扱い及び保管場所に留意しましょう。
- 個別の教育支援計画は、指導要録の指導に関する記録の保存期間を参考に、**5年間保存が望ましい**と考えられます。保存方法については、学校の設置者【当該市町村（学校組合）教育委員会】に確認しておきましょう。

特に、大きく学びの場等が変化する場合（進学や就職時）は、「困難さ」だけではなく、「効果的な環境整備」や「支援のこつ」など、具体的に支援内容を引き継ぐことが大切です。

（例）○○すれば□□ができる。●●な状況が見られるが、△△があれば□□することができる。

中学校から高等学校への引継ぎについては、県教育委員会高等学校課が作成したリーフレット（高等学校課HPに掲載）を御確認ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1228603/hikitugitirasi.pdf>





鳥取県エキスパート認定教員による

# 公開授業の御案内

西部教育局  
令和5年1月

チャンス!



優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野  
中学校

ICTを活用した教育活動

米子市立尚徳中学校

米子市日原146番地

●授業者

木村 和仁 教諭

- 開催時間【受付】9:30～9:45  
【公開授業】9:55～10:45  
【研究協議】10:55～11:45

- 授業内容【单元名】第1学年  
理科「活着ている地球」

※他校(米子市立東山中学校)とのオンライン授業交流

※ICTを活用したプレゼンカの向上

授業日

1月24日  
(火)

1月20日(金)  
申し込み  
締め切り

参加申込

★ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。

※開催案内とファクシミリ送信票は、各校へC4thで送付されています。

また、鳥取県教育センターホームページ【エキスパート教員授業案内】からダウンロードすることもできます。

認定分野

中学校 特別の教科 道徳

米子市立加茂中学校

米子市両三柳3883番地

●授業者

南葉 知佳 教諭

★鳥取県道徳教育研究協議会と兼ねて実施します。

(令和4年12月14日小中学校課より通知)

- 開催時間【受付】12:50～13:10  
【公開授業】13:15～14:05  
【授業研究会】14:30～15:00  
【指導助言及び講義】15:00～16:30

講師:国立教育政策研究所

教育課程調査官 飯塚秀彦 氏

テーマ:「これからの『特別の教科 道徳』

授業の在り方について」

- 授業内容【单元名】第2学年

「平和な世界の実現」(内容項目:C国際理解、国際貢献)

※自分なりの問いを持つことができる仕掛け

※批判的な見方(多面的・多角的な見方)をねらった発問

※自己の生き方につなげる振り返り

★Meetを使用し、ハイブリッド形式(参加者が会場への参集又はオンラインでの参加を選択する形式)により開催します。  
なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、オンライン開催に変更する可能性があります。

参加申込

★鳥取県道徳教育研究協議会の開催要項に添付している参加申込書に必要事項を記入の上、指定のあった方法で所管の市町村(学校組合)教育委員会へ提出してください。



☆感染症対策への御協力をお願いいたします。



※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催方法の変更又は中止、延期になる場合がありますので、あらかじめ御了承ください。